

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL <a href="http://cleanup.jp/">http://cleanup.jp/</a>
単元株式数	100株

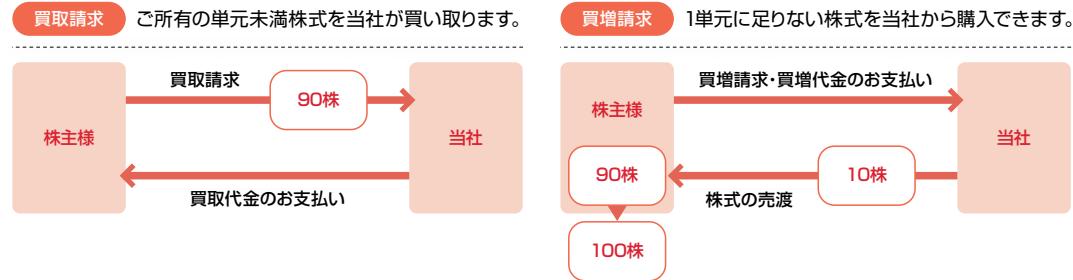
【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式  
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
  - 特別口座に記録された株式  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
  - 未受領の配当金  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。



キッチンから、笑顔をつくろう

# 株主の皆さまへ 第63期 報告書

2015年4月1日から 2016年3月31日まで

## 株主の皆さまへ

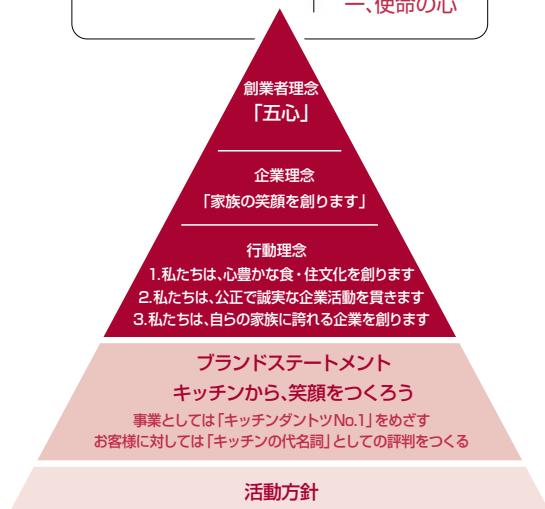
## クリナップの企業理念

クリナップは、創業60周年(2009年10月)を契機に、『第二の創業』に向けた新たな一歩を踏み出しております。

## ■ 企業理念

## 創業者理念「五心」

- 一、創業の心
- 一、親愛の心
- 一、創意の心
- 一、技術の心
- 一、使命の心



上記三つの理念(創業理念・企業理念・行動理念)に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、「The Kitchen Company」を確立します。

中期経営計画「15中計」のもと  
付加価値(収益)重視経営への変革を

代表取締役社長

井上 強一

2016年3月期の  
連結決算ハイライト

- 売上高は、フルモデルチェンジを行った「クリンレディ」が大幅に伸長したものの市場全体が先行き不透明な状況で推移したことから、前年同期比1.5%減となりました。
- 利益面でも、営業利益が前年同期比62.7%減、経常利益が同67.9%減、親会社株主に帰属する当期純利益が同61.5%減となりました。

当期は、2期連続の減収減益となりましたが、次期は増収増益を予想しております。

当期(2016年3月期)の市場環境は、先行きの不透明感が漂う状況となりました。新設住宅着工戸数の動きをみると、2014年4月からの消費税増税の影響から、前期は2015年2月まで12カ月連続で前年同月を下回る推移となり、2015年3月以降、ようやく持ち直しの兆しがあるものの、当期中は横ばいの状況で推移しました。

当期の連結業績は、こうした市場環境を反映し、誠に遺憾ながら2期連続の減収減益となりました。しかしながら、当期よりスタートした中期経営計画「15中計」(2016年3月期～2018年3月期)における戦略・施策の推進は着実に成果を積み重ねており、次期(2017年3月期)には業績回復を果たし増収増益を見込んでまいります。

『15中計』に基づいた経営により、「ザ・キッチンカンパニー」としての高付加価値化が着実に進んでおります。

『15中計』では、「基盤事業の収益構造を変革し、新たな成長のステージへ」を基本的な考え方とし、戦略面では、当期の業績を鑑みて一部見直しを図り、「付加価値(収益)」を重視した経営へ向けた変革に取り組んでおります。

まず、「収益構造の変革」に向けた取り組みですが、当期も「ザ・キッチンカンパニー」として付加価値の最大化を積極的に推し進めました。商品面では、主力商品であるシステムキッチン「クリンレディ」を2015年5月にフルモデルチェンジして発売し

ました。標準装備となった「流レールシンク」と相まって各方面から高い評価を得て数々の賞を受賞(P4参照)するとともに、金額・数量ともに大幅な伸びを示し、当期の業績を下支えしました。また、「クリンレディ」でご評価いただいた発想とノウハウを、他シリーズのシステムキッチンや洗面化粧台、システムバスルームなどの他のブランドに横展開することで、ブランド力や市場浸透力の強化につなげる取り組みも行いました(P5-6参照)。

営業面では、顧客接点の要であるショールームの持続的な付加価値アップに努め、積極的なリニューアルを行いました。当期は新設1カ所を含む13カ所のリニューアルを行い、この5年で

## ■ 中期経営計画『15中計』の概要

## 基盤改革 付加価値(収益)重視経営へ向けた変革

## 収益構造の変革

付加価値の最大化と固定費の最適化

- 中高級品の販売強化
- リフォーム市場で競争優位となる商品の開発
- ショールームを核とした販売戦略の推進 など

## 経営基盤の進化

- 業務・仕組みの効率化による高い生産性の実現
- キッチン専門メーカーならではの人・ブランドづくり
- 社会的使命をもった事業活動の推進
- ガバナンス体制の強化と安定的な株主還元

## 成長戦略 キッチン専門メーカーの強みを活かした新価値の提供

- 海外市場の獲得
- 新規ビジネスの創出

## 株主の皆さまへ

61カ所と、全国拠点の約6割までになりました。これからも計画的にリニューアルを推し進めてまいります。また、リフォーム需要の拡大に向け、各地の工務店やリフォームショップを組織化した「水まわり工房」会員も当期309社増の4,259社となり、各地の当社ショールームで共同で行うリフォームフェアは、年々その賑わいを増しております。

### 経営基盤の進化に向け、BCPの観点に立った生産体制の構築や経営の効率化、人材の育成に努めてまいります。

「付加価値(収益)」を重視した経営に向けて、当社は「経営基盤の進化」にも取り組んでおります。

その一つがBCP(事業継続計画)対策です。現在、当社グループの生産体制は、福島県いわき市の生産拠点と、岡山県勝央町と津山市の生産拠点の東西二極体制をとっておりますが、

2016年2月に津山工場の新プレスライン竣工により、西日本の供給体制が強化され、今後、二極体制はさらにバランスのとれた生産体制となります。

また、経営の効率化として、当社独自の受注生産方式であるGPS(クリナップ・プロダクション・システム)活動を引き続き強化し、サプライチェーン全体での効率化とコストの最適化を推し進めてまいります。

さらに、「ザ・キッチンカンパニー」としての優位性を確立していくために、引き続きショールームアドバイザー約400名の人材力強化に努めるなど、人を育てる風土づくりに注力してまいります。

当社は今後、収益改善が軌道に乗るまでは収益向上の実現に優先的に取り組んでまいります。その中で、アジアを中心とした海外事業の拡大など成長戦略についても継続して追求してまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

生産力の強化

西日本における供給体制の強化

### 津山工場の新プレスラインが完成

東日本大震災の翌年(2012年)より、BCP(事業継続計画)の観点から東西のバランスを踏まえ、福島県いわき市の生産拠点と岡山県勝央町と津山市の生産拠点の二極化を進めてきました。津山市の生産拠点「津山工場」は、当社子会社であるクリナップ岡山工業(株)が経営を担っていますが、2016年2月にプレスライン新設工事が完了し、西日本における生産体制が整いました。これにより、これまでは福島県いわき市の工場から、ステンレス製キッチン部材とシンクの供給を受けてシステムキッチンの製造を行っていましたが、津山工場



で部材から完成品に至るまでの一貫生産が可能となりました。



建物名称 クリナップ岡山工業(株)津山工場  
(2013年よりシステムキッチンカウンター製造開始)  
所在地 岡山県津山市金井558-3  
敷地面積 27,931.38㎡  
延床面積 9,100.19㎡  
製造品目 システムキッチン ステンレスカウンター

## トピックス

# クリンレディ & 流レールシンク クリナップの技術とアイデアが受賞しました!

昨年5月、主婦モニターによる調査をもとに、野菜や食器を洗う「シンク」内に残る「ゴミや汚れ」に着目し、清掃性を追求した新機能「流レールシンク」を発売しました。逆転の発想から生まれた新機能は発売と同時に大きな反響をいただき、各業界団体よりクリナップの積み上げられてきた技術とアイデアが認められ、各賞を受賞する運びとなりました。



©円谷プロ

### 2015年 日経優秀製品・サービス賞 優秀賞

特に優れた新製品・サービスを表彰する『2015年日経優秀製品・サービス賞』において、2万点の中から「クリンレディ」が優秀賞 日経産業新聞賞を受賞しました。

## クリンレディ



### リフォーム大賞2016 キッチン部門 首位独占

リフォーム産業新聞社主催「リフォーム大賞—リフォーム営業マン・プランナー300人が選ぶ住設機器」において、キッチン部門の高級・中級・普及の全3部門で首位を獲得。特に中級の「クリンレディ」は、デザイン性・施工性・機能性・コストパフォーマンスのすべての点において高ポイントを獲得しました。



### 2015年度 グッドデザイン・ベスト100

2015年度グッドデザイン賞受賞対象の中で、特に高い評価を得た100件に「流レールシンク」が選ばれました。



### 第26回 読者が選ぶ「ネーミング大賞」 第2位

2014年秋から2015年秋に話題となった商品の中から、優れたネーミングを読者投票で選ぶ、日刊工業新聞社主催「第26回読者が選ぶ「ネーミング大賞」」の生活部門において、「流レールシンク」が第2位を獲得しました。



## 特集：商品力と営業力の強化

商品力の強化

### 「流レールシンク」&「流レールボール」

## システムキッチンの発想とノウハウを活かし、「流レール」に仲間が生まれました。

ご好評いただいている「流レールシンク」をはじめとしたシステムキッチンの発想とノウハウを活かし、この度、洗面化粧台「S」、システムバスルーム「アクリアバス」、最高級システムキッチン「S.S.」をモデルチェンジしました。

お客様のご意見から生まれたアイデアとクリナップの技術は、今後もより快適な生活スタイルを提案してまいります。

### 洗面化粧台「S」フルモデルチェンジ

業界初のステンレス製キャビネットが好評の洗面化粧台「S」。初のフルモデルチェンジとして、新発想の「流レールボール」を標準装備したことに加え、耐久性・清掃性を強化しました。



### 「流レールボール」誕生

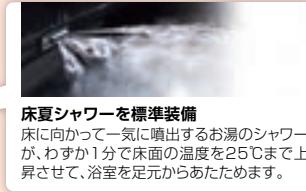


ボールの材質は人工大理石を採用し、意匠性を向上。使いものを落としても割れにくい素材。



### システムバス「アクリアバス」モデルチェンジ

業界トップクラスの「保温性」、「安全性」、「清掃性」が特徴のシステムバスルームです。4年ぶりとなる今回のモデルチェンジでは保温性、安全性、意匠性を強化しました。



床夏シャワーを標準装備  
床に向かって一気に噴出するお湯のシャワーが、わずか1分で床面の温度を25℃まで上昇させて、浴室を足元からあたためます。

### 最高級システムキッチン「S.S.」モデルチェンジ

「流レールシンク」の標準装備に加え、デザイン性の高い木目や石目など、自然素材モチーフをはじめとする21色の新色扉が登場。



### 「流レールシンク」

レールがキレイをお手伝いする「流レールシンク」を標準装備

営業力の強化

### 顧客接点の拡がりと充実

## 全国102カ所目のショールームとして、八代ショールームが新設オープン

さらなる顧客接点の強化とブランディング向上を目指し、102カ所目となる八代ショールーム（熊本県）を新設しました。2012年よりお客様に心地よく過ごしていただき、楽しみながら商品をご覧いただくことを目的にショールームのリニューアルを進め、この5年間で61カ所のリニューアルが完了し、全国拠点の約6割を刷新しました。



八代ショールーム

新ショールームは主に、料理教室等の食と暮らしに関する様々なイベントを再現した「空間提案コーナー」を配し、お客様に生活提案型の

イベント開催が可能な「キッチンスタジオ」、リビングまでの居住スペースショールームとしてご活用いただいています。

### 体験型ヘリニューアル



クリナップキッチンタウン東京

長野ショールーム

仙台ショールーム

佐世保ショールーム

福山ショールーム

豊橋ショールーム

### さらに立地の良い場所へ移転リニューアル



秋田ショールーム

浜松ショールーム

福知山ショールーム

石巻ショールーム

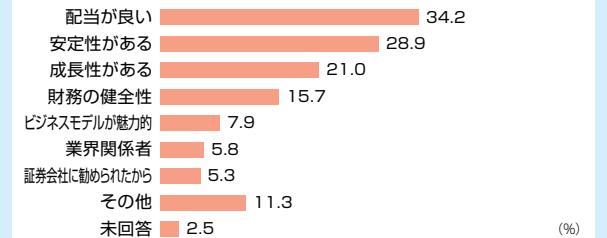
岡崎ショールーム

松江ショールーム

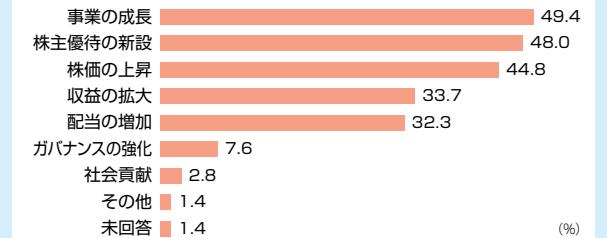
## 株主アンケート集計結果のご報告

第63期第2四半期報告書におきまして、株主アンケートを実施させていただき、総計433通のご回答をいただきました。その集計結果の一部をご紹介します。

### 当社株式の保有理由は？(複数回答)



### 今後、当社に期待することは？(複数回答)



### その他のご意見・ご要望の一部

- これからもユニークで創意工夫に満ちた商品開発を期待
- 他社に負けない新製品を開発してほしい
- 使って楽しいキッチンへ、継続的な改善、改革を
- 景気に左右されない安定経営に努め、配当性向の向上をめざしてほしい
- 株主優待を実施してほしい

皆さまからの貴重なご意見・ご要望を参考にさせていただき、今後のIR活動のさらなる充実に向け、取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。

# 連結ハイライト情報 / 連結部門別情報

## ■ 連結財務ハイライト

(百万円)

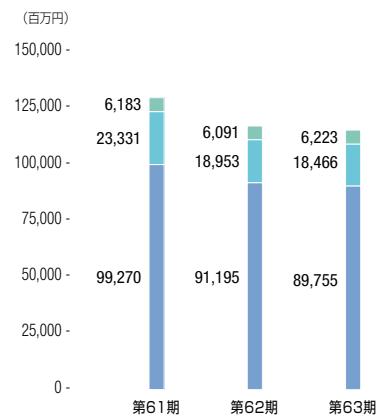
	第61期 2014年3月期	第62期 2015年3月期	第63期 2016年3月期
売上高	128,785	116,239	<b>114,445</b>
営業利益	8,873	3,028	<b>1,129</b>
経常利益	8,470	2,703	<b>867</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	4,970	883	<b>340</b>
総資産	95,932	86,063	<b>85,871</b>
純資産	60,626	56,509	<b>55,773</b>

## ■ 部門別売上高 (連結)

(百万円)

	第61期 2014年3月期	第62期 2015年3月期	第63期 2016年3月期
厨房部門	99,270	91,195	<b>89,755</b>
浴槽・洗面部門	23,331	18,953	<b>18,466</b>
その他	6,183	6,091	<b>6,223</b>
合計	128,785	116,239	<b>114,445</b>

■ 厨房部門 ■ 浴槽・洗面部門 ■ その他



### 厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」、中・高級品クラスの「クリンレディ」、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

### 浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

## 第63期の営業概況

### 市場環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府及び日銀の経済政策により、輸出関連企業を中心とした収益改善や雇用環境の好転がみられたものの、個人消費の回復は力強さに欠け、景気は不安定な状況が続きました。

### 業績・成果

このような中、当社グループは、2015年度グッドデザイン・ベスト100に選出された『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」や、保温性と安全性をさらに強化し、2016年2月に新発売したシステムバスルーム「アクリアバス」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため、2015年10月に首都圏エリアの旗艦ショールームとして「クリナップ・キッチンタウン・東京」をオープンしたほか、6カ所を新築移転、6カ所を全面リニューアルしました。また、全国102カ所のショールームを活用したフェアを開催し、

住宅設備機器業界におきましては、住宅取得優遇策等により持ち直しの動きが一部みられたものの、リフォーム市場も含め、本格的に活性化するには至らず、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、リフォーム需要の喚起に努めました。

生産面では、BCP(事業継続計画)の観点から東西の生産バランス再編を推進しつつ、受注生産方式を活かした付加価値創造と原価低減に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、前年同期比1.5%減の1,144億45百万円となりました。利益面では営業利益は同62.7%減の11億29百万円、経常利益は同67.9%減の8億67百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同61.5%減の3億40百万円となりました。

## 第63期の部門別の状況

部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも減、「クリンレディ」は数量、金額とも増、「ラクエラ」は数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比1.6%減の897億55百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においても数量、金額とも減となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比2.6%減の184億66百万円となりました。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

**流動資産** 流動資産は前期末比13億29百万円減少し546億34百万円となりました。これは現金及び預金が12億67百万円、有価証券が6億99百万円、商品及び製品が2億4百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が5億23百万円、繰延税金資産が2億67百万円増加したこと等によります。

**固定資産** 固定資産は前期末比11億37百万円増加し312億37百万円となりました。これは有形固定資産が11億19百万円、無形固定資産が4億55百万円増加した一方、投資その他の資産が4億37百万円減少したことによります。

**資産合計** 総資産は前期末比1億92百万円減少し858億71百万円となりました。

	第62期 2015年3月31日現在	第63期 2016年3月31日現在
(資産の部)		
<b>流動資産</b>	<b>55,964</b>	<b>54,634</b>
現金及び預金	21,564	20,297
受取手形及び売掛金	18,670	19,193
電子記録債権	7,155	7,063
その他	8,615	8,121
貸倒引当金	△ 41	△ 42
<b>固定資産</b>	<b>30,099</b>	<b>31,237</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>21,427</b>	<b>22,546</b>
建物及び構築物	9,346	9,164
土地	6,607	7,017
その他	5,473	6,365
<b>無形固定資産</b>	<b>2,568</b>	<b>3,024</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,103</b>	<b>5,666</b>
投資有価証券	3,501	3,056
その他	2,673	2,665
貸倒引当金	△ 71	△ 55
<b>資産合計</b>	<b>86,063</b>	<b>85,871</b>

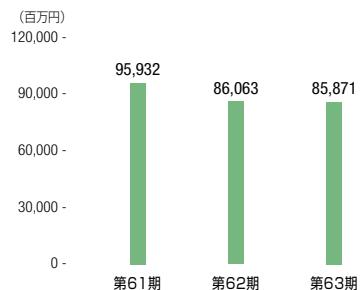
	第62期 2015年3月31日現在	第63期 2016年3月31日現在
(負債の部)		
<b>流動負債</b>	<b>23,087</b>	<b>24,258</b>
買掛金	7,036	7,170
厚生年金基金解散損失引当金	—	915
その他	16,051	16,172
<b>固定負債</b>	<b>6,467</b>	<b>5,839</b>
長期借入金	1,273	1,556
退職給付に係る負債	1,284	1,095
役員退職慰労引当金	416	416
厚生年金基金解散損失引当金	915	—
その他	2,577	2,771
<b>負債合計</b>	<b>29,554</b>	<b>30,098</b>
(純資産の部)		
<b>株主資本</b>	<b>54,695</b>	<b>54,199</b>
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	29,387	28,889
自己株式	△ 310	△ 309
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,814</b>	<b>1,574</b>
その他有価証券評価差額金	1,029	877
為替換算調整勘定	130	100
退職給付に係る調整累計額	653	597
<b>純資産合計</b>	<b>56,509</b>	<b>55,773</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>86,063</b>	<b>85,871</b>

**流動負債** 流動負債は前期末比11億71百万円増加し242億58百万円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金から5億62百万円、未払消費税等が3億59百万円減少した一方、買掛金が1億34百万円、未払金が7億68百万円、未払法人税等が1億5百万円、厚生年金基金解散損失引当金が9億15百万円増加したこと等によります。

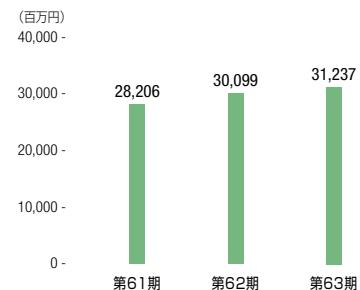
**固定負債** 固定負債は前期末比6億28百万円減少し58億39百万円となりました。これは長期借入金から2億82百万円増加した一方、厚生年金基金解散損失引当金が9億15百万円、退職給付に係る負債が1億88百万円減少したこと等によります。

**純資産合計** 純資産合計は前期末比7億35百万円減少し557億73百万円となりました。これは親会社株主に帰属する当期純利益3億40百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億52百万円、配当金の支払い8億37百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末比の65.7%から65.0%になりました。

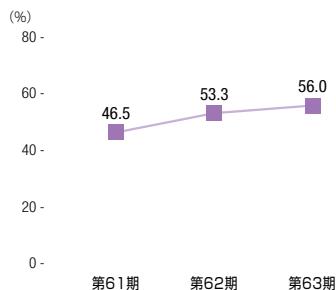
### ■ 資産合計



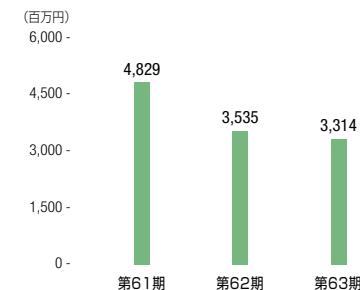
### ■ 固定資産



### ■ 固定比率

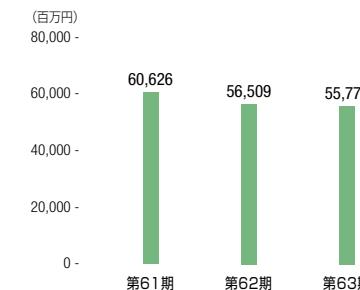


### ■ 有利子負債

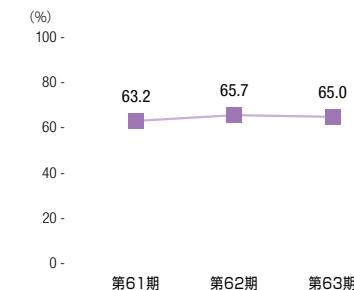


(※) 有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

### ■ 純資産合計



### ■ 自己資本比率



# 連結財務諸表

## ■ 連結損益計算書および連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

**売上高** 厨房部門、浴槽・洗面部門ともに減収となり、売上高は前年同期比1.5%減の1,144億45百万円となりました。

**売上原価** ラクエラの原価率アップや原材料の値上げの影響等により、売上原価率が前年同期比0.9ポイントアップし67.6%となりました。

**販管費** 減収により物流費が減少する一方で、CM等広告宣伝費が増加したこと等により販管費率は前年同期比0.7ポイントアップし31.4%となりました。

**営業利益** 減収となったこと、また、売上原価率・販管費率がともにアップしたことにより、営業利益は前年同期比62.7%減の11億29百万円となりました。

**親会社株主に帰属する当期純利益** 親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比61.5%減の3億40百万円となりました。

	(連結損益計算書)	
	第62期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	第63期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	116,239	114,445
売上原価	77,531	77,331
売上総利益	38,708	37,114
販売費及び一般管理費	35,680	35,985
<b>営業利益</b>	<b>3,028</b>	<b>1,129</b>
営業外収益	584	544
営業外費用	909	805
<b>経常利益</b>	<b>2,703</b>	<b>867</b>
特別利益	11	48
特別損失	1,006	161
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>1,709</b>	<b>754</b>
法人税等	825	413
当期純利益	883	340
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>883</b>	<b>340</b>
(連結包括利益計算書)		
当期純利益	883	340
その他の包括利益	803	△ 239
包括利益	1,687	101

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

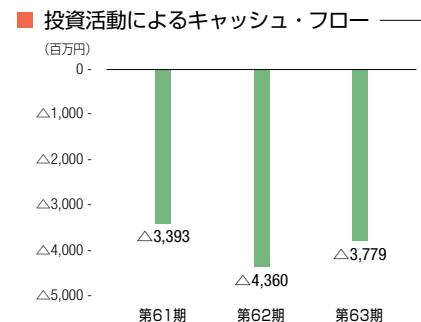
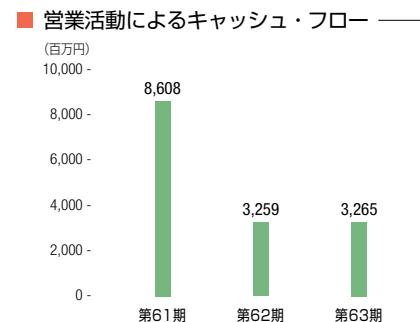
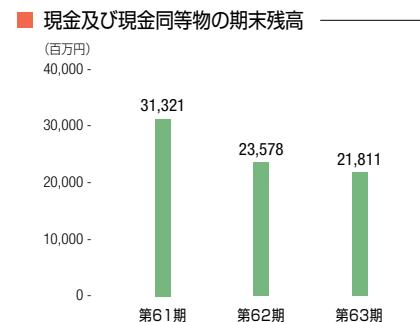
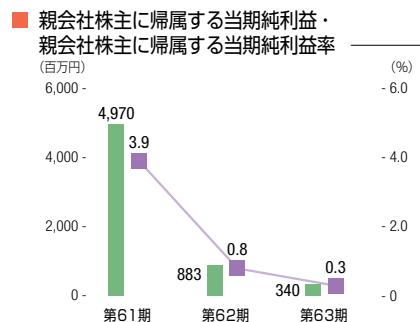
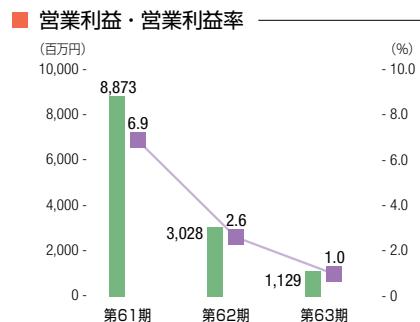
	(百万円)	
	第62期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	第63期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,259</b>	<b>3,265</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,360</b>	<b>△ 3,779</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 6,659</b>	<b>△ 1,230</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△ 22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 7,743	△ 1,766
現金及び現金同等物の期首残高	31,321	23,578
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>23,578</b>	<b>21,811</b>

**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
営業活動によって得られた資金は32億65百万円(前年同期比0.2%増)となりました。これは税金等調整前当期純利益が7億54百万円、減価償却費が35億79百万円、仕入債務の増加額2億7百万円、未払金の増加額8億14百万円等があった一方、退職給付に係る負債の減少額2億89百万円、長期前払費用の増加額3億24百万円、売上債権の増加額3億52百万円、たな卸資産の増加額5億6百万円、未収入金の増加額1億88百万円、法人税等の支払額3億63百万円があったこと等によるものです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資活動の結果使用した資金は37億79百万円(前年同期比13.3%減)となりました。これは生産設備の増設及び改修、ショールーム移転・改装等の有形固定資産の取得に伴う支出が30億55百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の支出が1億71百万円、有価証券の取得による支出が5億円あった一方、有価証券の償還による収入が7億円、投資有価証券の償還による収入が2億円あったこと等によるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
財務活動の結果使用した資金は12億30百万円(前年同期比81.5%減)となりました。これはファイナンス・リース債務の返済による支出が1億13百万円、長期借入金の純減2億80百万円、配当金の支払いが8億37百万円あったこと等によるものです。

**現金及び現金同等物の期末残高**  
現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ17億66百万円減少して218億11百万円となりました。



# 株式関連情報 (2016年3月31日現在)

## ■ 剰余金の配当について

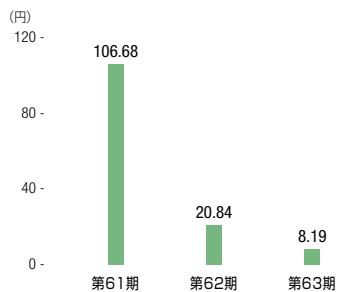
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つと考えております。長期的な安定と成長を実現することにより最大の利益を上げ、安定的な配当を長期的に継続していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、新製品生産設備、営業拠点整備、

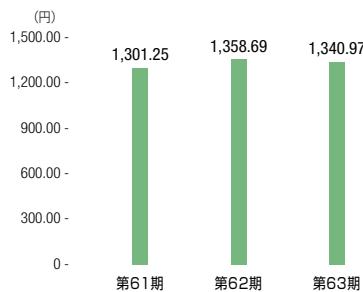
情報基盤整備等の設備投資に充て、効率的な経営による収益力の向上と資本効率の向上に努めてまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり10円とし、1株当たり年間20円の普通配当を実施させていただきました。

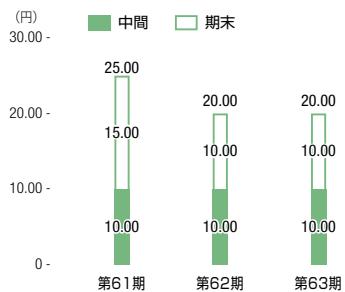
## ■ 1株当たり純利益



## ■ 1株当たり純資産額

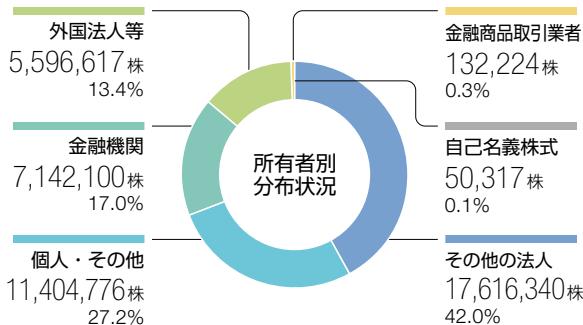


## ■ 1株当たり配当金



## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 130,000,000 株  
 発行済株式総数 ..... 41,942,374 株  
 株主数 ..... 4,185 名



## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	12,476	29.7
クリナップ社員持株会	1,887	4.5
株式会社タカヤス	1,829	4.3
クリナップ真栄会	1,805	4.3
クリナップ共進会	1,607	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,158	2.7
井上 けよ	1,133	2.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCROO	1,034	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	1.8
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.6

(注) 持株比率は、「株式付与ESOP信託口」が保有する自己株式(299,840株)を除いた自己株式(50,317株)を控除して計算しております。

# 会社情報

## ■ 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号 クリナップ株式会社  
 Cleanup Corporation  
 本社所在地 〒116-8587  
 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号  
 電話 03-3894-4771(大代表)  
 創業 1949年10月5日  
 会社設立 1954年10月5日  
 上場 1990年2月6日 東証2部上場  
 1991年9月2日 東証1部指定  
 資本金 132億6,734万円  
 主要営業品目 厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他  
 社員数 連結：3,528名 / 単体：2,735名  
 主な事業所 支社：国内3カ所  
 支店：国内4カ所  
 営業所：国内125カ所  
 海外：香港、北京、台湾  
 工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島  
 (いずれも福島県いわき市)

## ■ 役員 (2016年6月28日現在)

代表取締役社長	井上 強一	社外取締役	川崎 享
取締役	小島輝夫	社外取締役	千代田有子
取締役	佐藤 茂	常勤監査役	山根 康正
取締役	藤本 真一	常勤監査役	山本 幸男
取締役	島崎 憲夫	社外監査役	新谷 謙一
取締役	山田 雅二	社外監査役	有賀 文宣
取締役	竹内 宏		

## ■ ショールーム/全国102カ所

北海道支店ブロック 4カ所 中部支店ブロック 12カ所  
 東北支店ブロック 13カ所 関西支店ブロック 26カ所  
 東京支店ブロック 28カ所 九州支店ブロック 12カ所  
 上信越支店ブロック 7カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

※株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。  
 また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

